

第5回 四万十川かわまちづくり協議会 議事概要

●開催概要

- ・日時：令和8年2月26日（木）14：30～16：00
- ・場所：四万十市役所
- ・出席者：四万十市長、中村商工会議所会頭、中村河川国道事務所長、高知県幡多土木事務所長、四万十市副市長、中村地区区長会会長、具同地区区長会会長、入田地区区長、四万十川漁業協同組合連合会会長、四万十市観光協会専務理事、四万十川自然再生協議会事務局長、推進WGメンバー
- ・事務局：四万十市、中村河川国道事務所

●開催状況



●議事

- ・事務局から、これまでの四万十川かわまちづくりの取り組み内容の振り返り、ハード・ソフト施策の進捗状況、今後の活動とスケジュールについて説明。各議題について意見交換を行った。

●主な意見等

かわまちづくりの取り組み方針について

- 陸だけでなく、川の中で楽しむことを目指して取り組みを検討すべき。
- 河床や生物の状態から環境の変化を感じる。川の中の現状を把握し、何をしないといけないかを考えないといけない。
- 川の中に入る気がしない。かわまちづくりをやるのであれば、川の浄化が必要。
- 川の実態を30～40代の人に知ってもらいたい。川の怖さと楽しさの両方を知ってもらわないといけない。
- 四万十川を漁場や観光地としてだけでなく、「防災の川」として捉え、災害時に避難や物資運搬の経路として利用することも考えておくことが重要。

ハード施策について

- 伏流水による本川とワンド内の水温差の話題があったが、伏流することによって川の浄化機能も向上することがわかっているので、真剣に取り組んでほしい。

ソフト施策について

- イベント開催においては、事前の連絡調整が重要。地元地区と連携して開催できるよう留意してほしい。